

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより 「ココロオドル」

第16号 平成31年1月11日(金) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「常 笑 大 草！」

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



「知っている」こと「できる」こと

7時35分、弓形に続く線路を4両編成のJRが、長崎方面へ走っていきます。ちょうどその頃、白い息を吐きながら、そして、寒さに少し肩をすばめた子どもたちが登校してきます。日常が戻ってきたなと感じる瞬間です。子どもたちが、約50日間の3学期を有意義に過ごすことができるよう私たちががんばります。今年もよろしくお願いたします。



さて、3学期の目標を立てるアドバイスとして次のことを伝えました。「知っている」ことと「できる」ことは違います。理解していてもできないことがたくさんあるから、「できるようになる」ことを目標にしましょう。廊下を走ってはいけないことは知っていますが、できていますか？宿題は大切に、やっつけていかなければならないと知っていますが、できていますか？と。もちろん私たちも心がけます。飲み過ぎはいけないと知っていますからね・・・(^_^;)



竹とんぼ

金子みすゞ

キリリ、キリリ、竹とんぼ、
あがれ、あがれ、竹とんぼ。

一階の屋根よりまだ高く、
一本杉よりまだ高く、
かつらぎ山よりまだ高く。

私のけすった竹とんぼ、
私のかわりに飛び上がれ。

キリリ、キリリ、竹とんぼ、
あがれ、あがれ、竹とんぼ。

お山の煙よりまだ高く、
ひばりの唄よりまだ高く、
かすんだお空をつき抜けろ。

けれどもきつと忘れない、
この小みちへ下りつこう。

「10000時間の法則」

小学4年生の少女、仲邑菫（なかむら すみれ）さんが、囲碁のプロ棋士になりました。3歳から囲碁を始めて、ちょうど10歳でプロ入りしたのです。天才肌であることは間違いないと思いますが、それ相応の努力もあったものと推察します。



ところで、「人が成功を収めるためには、1万時間の法則を守る必要がある」そうです。（一流のスポーツ選手、

世界で活躍する芸術家、オリンピックのメダリスト、日本を代表するような人になるためには）詳しくいうと、まず、「1万時間を費やせる努力とタイミング」が重なる必要があるそうです。では、1万時間とはどれくらいの長さなのかといいますと……。◇1万時間を日に直すと約417日で、約1年2か月です。◇1日に5時間の練習や努力をすると約6年かかることとなります。◇1日に3時間の練習や努力をすると約9年間かかり、小学1年生から中学3年生までとなります。例えば、サッカーの練習を1日も休まず毎日3時間、9年間続けると有名なサッカー選手になる可能性があるということです。それは、野球でも柔道でもバレーボールでも、ピアノでも同じことです。「なでしこジャパン」で有名な澤穂希選手は、中学生からクラブチームに所属し、20年間かけて世界一のチームのキャプテンになったのです。何年も続けることは誰にでもできることではありません。しかし、せめて続ける意識は持ちたいものですね。



★1月の主な行事予定 3のつく日は「えがおの日」

- 15日（火）ダービースクールとの交流
- 17日（木）親子給食試食会（カレーライス（^））
- 18日（金）特別日課 大草塾運営委員会 19:00～20:00
- 21日（月）～25日（金）個人面談
- 22日（火）給食集会 給食費集金日～24日（木）
- 24日（木）子ども会議
- 25日（金）5・6年生社会科見学
- 26日（土）諫早市PTA研究大会
- 30日（水）劇団四季観劇（6年生）



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。